

## 平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビックカメラ

コード番号 3048 URL <http://www.biccamera.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮嶋 宏幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 安部 徹 TEL 03-3987-8785

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	188,535	5.2	3,015	23.2	3,411	20.3	1,997	31.3
29年8月期第1四半期	179,279	△0.6	2,447	△23.4	2,836	△16.2	1,520	△26.4

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 3,981百万円 (30.6%) 29年8月期第1四半期 3,049百万円 (20.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	10.98	10.65
29年8月期第1四半期	8.37	8.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	383,853	148,695	32.7
29年8月期	350,211	145,593	34.9

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 125,382百万円 29年8月期 122,215百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	-	5.00	-	7.00	12.00
30年8月期	-				
30年8月期(予想)		5.00	-	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	410,000	6.3	11,000	17.6	12,000	11.8	7,000	9.1	38.50
通期	830,000	5.0	25,000	14.4	26,000	6.7	15,000	11.1	82.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期1Q	183,017,022 株	29年8月期	182,478,765 株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	658,600 株	29年8月期	658,600 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期1Q	181,895,607 株	29年8月期1Q	181,820,165 株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年9月1日から平成29年11月30日まで)におけるわが国経済は、緩やかな景気の回復基調が続いております。企業収益及び雇用情勢は改善が続いており、個人消費は緩やかに持ち直しております。

当家電小売業界における売上は、ゲーム機が好調に推移したことに加え、洗濯機、冷蔵庫、デジタルカメラ、テレビ等が堅調に推移し、エアコン、スマートフォン、パソコン等がやや低調であったものの、総じて堅調に推移しました。

こうした状況下にあつて、「より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」を目指し、当社グループをあげて、接客力・専門性の向上、新規事業の拡大及びアフターサービスの強化に取り組むと同時に、生産性の向上に向け、当社グループのシステム統合効果の創出及び物流改革に取り組んでおります。また、インターネット通販システムの刷新を踏まえ、オムニチャネルを含むインターネット通販事業の強化に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、平成29年9月29日に「ビックカメラ京王調布店」(東京都調布市)を開店、11月17日に「ビックカメラ船橋東武店」(千葉県船橋市)を開店いたしました。また、非家電商品でも幅広い品揃えを行っている当社グループの特長を活かした新たな形態の店舗として、11月24日に玩具専門店の「ビクトイズプライムツリー赤池店」(愛知県日進市)を開店、11月28日に立地や客層を踏まえ化粧品、医薬品、理美容家電及び酒類等を中心の品揃えとした「ビックカメラセレクト原宿店」(東京都渋谷区)を開店いたしました。

この他、グループ会社におきましては、株式会社コジマがビックカメラ流の商品選定及び店内装飾と展示手法を活用した体験提案型の売場を設けた「コジマ×ビックカメラ店」の展開を進め、「コジマ×ビックカメラ 西友二俣川店」(神奈川県横浜市)及び「コジマ×ビックカメラ プライムツリー赤池店」(愛知県日進市)を開店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,885億35百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は30億15百万円(前年同期比23.2%増)、経常利益は34億11百万円(前年同期比20.3%増)、税金等調整前四半期純利益は33億52百万円(前年同期比28.9%増)となりました。法人税等合計が13億12百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益が42百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億97百万円(前年同期比31.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ336億41百万円増加(前連結会計年度末比9.6%増)し、3,838億53百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加39億51百万円、商品及び製品の増加224億58百万円、建物及び構築物の増加36億24百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ305億39百万円増加(前連結会計年度末比14.9%増)し、2,351億57百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加192億97百万円、短期借入金の増加180億円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ31億1百万円増加(前連結会計年度末比2.1%増)し、1,486億95百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当(純資産の減少)12億72百万円があつたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益(純資産の増加)19億97百万円、その他有価証券評価差額金の増加(純資産の増加)19億31百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年10月12日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,997	20,684
売掛金	31,497	35,449
商品及び製品	101,812	124,271
原材料及び貯蔵品	509	517
番組勘定	67	71
その他	18,625	21,013
貸倒引当金	△356	△361
流動資産合計	172,153	201,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,974	31,598
土地	46,227	46,116
その他(純額)	7,770	6,452
有形固定資産合計	81,972	84,167
無形固定資産		
のれん	4,351	4,261
その他	17,778	18,013
無形固定資産合計	22,129	22,274
投資その他の資産		
差入保証金	44,419	44,130
その他	29,963	32,050
貸倒引当金	△427	△415
投資その他の資産合計	73,955	75,764
固定資産合計	178,057	182,205
資産合計	350,211	383,853

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,177	66,475
短期借入金	33,200	51,200
1年内返済予定の長期借入金	23,546	19,833
未払法人税等	5,128	1,806
賞与引当金	3,148	4,870
ポイント引当金	11,567	11,436
店舗閉鎖損失引当金	336	287
資産除去債務	136	37
その他	26,030	25,563
流動負債合計	150,272	181,510
固定負債		
社債	5,384	4,872
長期借入金	15,216	15,755
商品保証引当金	1,625	1,450
店舗閉鎖損失引当金	1,256	1,228
退職給付に係る負債	13,693	13,945
資産除去債務	8,975	9,155
その他	8,193	7,238
固定負債合計	54,345	53,646
負債合計	204,617	235,157
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,237	23,493
資本剰余金	24,386	24,642
利益剰余金	72,195	72,920
自己株式	△241	△241
株主資本合計	119,578	120,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,561	5,492
退職給付に係る調整累計額	△924	△925
その他の包括利益累計額合計	2,636	4,567
新株予約権	—	5
非支配株主持分	23,378	23,307
純資産合計	145,593	148,695
負債純資産合計	350,211	383,853

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年9月1日 至平成28年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年9月1日 至平成29年11月30日）
売上高	179,279	188,535
売上原価	130,395	135,881
売上総利益	48,884	52,653
販売費及び一般管理費	46,436	49,638
営業利益	2,447	3,015
営業外収益		
受取利息	25	23
受取配当金	0	0
受取手数料	322	333
その他	183	162
営業外収益合計	532	518
営業外費用		
支払利息	103	89
その他	40	32
営業外費用合計	143	122
経常利益	2,836	3,411
特別利益		
固定資産売却益	0	32
特別利益合計	0	32
特別損失		
固定資産除却損	11	30
減損損失	64	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	158	51
その他	0	10
特別損失合計	235	91
税金等調整前四半期純利益	2,600	3,352
法人税、住民税及び事業税	1,422	1,384
法人税等調整額	△148	△71
法人税等合計	1,273	1,312
四半期純利益	1,326	2,040
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△194	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,520	1,997

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	1,326	2,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,649	1,945
退職給付に係る調整額	73	△3
その他の包括利益合計	1,722	1,941
四半期包括利益	3,049	3,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,225	3,928
非支配株主に係る四半期包括利益	△175	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

当社グループには、音響映像商品・家庭電化商品・情報通信機器商品等の物品販売事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)

当社グループには、音響映像商品・家庭電化商品・情報通信機器商品等の物品販売事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

品目別売上高

品目別		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	9,755	5.2	21.1
	テレビ	8,019	4.2	4.8
	レコーダー・ビデオカメラ	3,613	1.9	5.4
	オーディオ	3,752	2.0	6.2
	AVソフト	1,097	0.6	△7.2
	その他	5,021	2.7	21.8
	小計	31,259	16.6	11.7
家庭電化商品	冷蔵庫	8,260	4.4	1.3
	洗濯機	7,332	3.9	6.1
	調理家電	8,338	4.4	8.0
	季節家電	8,915	4.7	△1.0
	理美容家電	10,527	5.6	8.1
	その他	11,772	6.3	△1.0
	小計	55,147	29.3	3.2
情報通信機器 商品	パソコン本体	13,194	7.0	8.2
	パソコン周辺機器	5,641	3.0	5.2
	パソコンソフト	1,541	0.8	△5.7
	携帯電話	28,825	15.3	△0.6
	その他	11,960	6.3	2.7
	小計	61,162	32.4	2.2
その他の商品	ゲーム	7,633	4.1	22.8
	時計	5,291	2.8	9.8
	中古パソコン等	2,126	1.1	△32.9
	スポーツ用品	2,148	1.1	13.9
	玩具	2,832	1.5	8.8
	メガネ・コンタクト	1,395	0.7	11.3
	酒類・飲食物	1,561	0.8	19.9
	医薬品・日用雑貨	4,239	2.3	33.9
	その他	10,290	5.5	△1.8
	小計	37,519	19.9	7.5
物品販売事業		185,089	98.2	5.1
その他の事業		3,445	1.8	9.5
合計		188,535	100.0	5.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。